

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公表番号】特表2017-530130(P2017-530130A)

【公表日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-039

【出願番号】特願2017-516415(P2017-516415)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/16	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	49/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	38/16	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	49/04	2 1 0
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月21日(2018.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

個体の腫瘍に対する免疫応答を増加させる方法で使用するため、有効量のアネキシンV剤を含む医薬組成物であって、該方法が、前記医薬組成物の非経口投与による一連の療法を投与することを含む、前記医薬組成物。

【請求項2】

前記アネキシンV剤がアネキシンVタンパク質である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記タンパク質が野生型である、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

前記タンパク質、野生型タンパク質に対して少なくとも1つのアミノ酸置換を含む、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項5】

前記腫瘍が癌腫である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項6】

前記有効量が約50μg/kg～約5mg/kgである、請求項1に記載の医薬組成物

。

【請求項7】

前記投与が、少なくとも約1時間の循環半減期をもたらす経路によって実施される、請

求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

投与が腹腔内である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

投与が、静脈内投与により少なくとも 4 時間にわたって実施される、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記有効量が少なくとも 2 回投与される、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記有効量が第 2 の抗癌剤との併用療法で投与される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記併用療法が相乗効果をもたらす、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記第 2 の抗癌剤が免疫チェックポイント阻害剤である、請求項 11 または 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記第 2 の抗癌剤が放射線療法である、請求項 11 または 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

前記腫瘍は、表面のホスファチジルセリンの発現が陽性である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

ホスファチジルセリンの表面発現が陽性である腫瘍の存在を、アネキシン V 剤を用いたイメージングにより決定する、請求項 15 に記載の医薬組成物。